

つまり彼女の視点からすれば、こういうことだった。

祈りをなかつたことにすることを生業なりわいとする戒祈屋かいきやリリエールは、近頃の大聖堂の不備で仕事が微妙に増えつつあり、人手不足に悩まされていた。けれど店主のリリエールはとにかく人心掌握じんしんしやうあくがヘタクソで、求人広告に怪しげなことしか書けなかつたせいでまともに面接に来る者もいなかった。

その最中さなか、彼女は偶然ぐうぜん、僕と出会って、偶然、僕は彼女の店に面接に行く途中で行き倒れになっていたと。

つまり僕がいろいろとびくめであつたと同時に、今回の顛末てんまつは彼女にとってもいろいろとびくめであつたというわけだつた。

まさにういんういんの関係と言えるかな！
まんまと嵌められただけでも言えるがな！

「けれどあなたにデメリットがなかったのは事実でしょ？」

「いやでもさリリエールさん……」

「さん付けはやめて頂戴ちようだい」

「リリエール」

「はい」

「確かにそうかもしれないんだけどなんか納得がいかない
というか、ちよつと現実に頭が追いつかないというか
……」

上手うまくいきすぎじゃない？ 命救われた上に僕にまつわ

る嫌な現状を払拭ふっしょくしてもらって、それで就職もできて
 ……僕こんな幸せでいいの？ あとで臓器ぞうき売られることにな
 ったたりしない？

「あらいいじゃない。今まで不幸だったぶん幸せになつて
 も罰ばちは当たらないわ」

「……………」

「あなたの境遇きょうぐうを聞く限り、あなたは仕事が長続きしな
 い呪いに罹かかっていたようだしね」

「ちよつとまって何その呪い」

初耳すぎるんだけど。

「あなた以前に誰かに恨みを買ったんじゃないかしら。今、
 この国はご存じの通りろくでもない願いも叶えられるわ。」

そういう風になっているのよ」

「つまり」

「誰かがあなたの不幸を願った可能性があるってこと」

「……………」

「まあもう解いたからあまり関係はないけれどね——と
もかく、そういった事情があつたから、あなたは今まで仕
事が長続きしなかつたのよ」

けれど、これから先は違うわ。

どんなことがあるかと、あなたが誰から恨みを買おうと
も、私があなたを守ってあげる。

と、囁ささやきながら、彼女はテーブルに紙とペンを並べる。

「私の助手になって頂戴」

優しさに溢あふれているわけではなく。かといって含みを蓄えているわけでもない。力強くて、見つめられていれば吸い込まれそうになる深い蒼あおの瞳ひとみは、僕をじつと捉えていて離さない。

僕は今まで、何年か働いてきた中で、色々な人を見てきた。

だから知っている。小さい頃に憧あこがれていた大人のように素晴らしくて、大人らしい大人なんて幻想で、世の中にまみれているのは子供の頃から本質的には何ら成長していかなくて、自分の利益しか頭にない、澱よどんだ目をした人ばかりだと知っている。

だから祈りは途絶えない。

けれど彼女は祈りを止められる。

そして彼女は僕とは同年代と思えないほど大人びていて——それどころか、この国で出会った誰よりも澄すんだ目をしていた。穢けがれを知らない少女のように。

見惚みとれてしまえるほどに、綺麗きれいだった。

こんなの、躊躇ちゅうちよする理由がどこにあったとらうのか。

だから僕は迷わずペンをとった。



「それじゃあ今後は馬車馬のように死ぬまで働いてもらおう

ことになるから覚悟しなさい。私の店はブラックと呼ぶのが生やさしいくらいにブラックよ」

「はははご冗談を。僕ほんとはリリエールがいい人だつて知ってるよ？」

「あら私と数時間前に会ったばかりなのに随分と知った風な□を利^きくのね」

「やだなあ同じ釜の飯を食べた仲じゃん？」

「それはそうとあなた借金は今後どういった分配で返済していくつもりなのかしら」

「……は？」

借金とな？ なんのことやら。「僕、借金はしない主義なんだけど。今日も借金ゼロのまま死にかけてたわけだ

し」

「あら。じゃあ解呪料金の千万レインはどろちやって払うつもりなのかしら。臓器でも売る？」

「えっ」

「解呪してあげるとは言ったけど無料でやってあげるといった覚えはないわよ。きつちり働いて返しなさい」

「……………」

「さっきの提案、受けてくれて本当にありがとう。もしあなたが断っていたら今頃大変だったわ。後始末で」

「……………」

彼女はぽん、と僕の肩に手を置いた。

「何はともあれ、ようこそ戒祈屋リリエールに。歓迎する

わ」

誰よりも澄んだ目をしているとはなんだっただのか。

もしや僕の目が濁にごっていたのかな？ これ結局つまり僕

って退路をふさがれた上で進むべき道が一つしかないように錯覚させられただけって感じかな？ おいおいやり口が

やくざ者もんのそれと同等じゃないかーやだー。

「クーリングオフとか効きますか」

「ごめんなさいうちブラックだからそうっつうのはちよっ
と」

……………。

やっぱりこれって絶対なんかヤバイ仕事じゃん！

やだー！